

令和5年度和泉市男女共同参画審議会 当日意見等について

市長挨拶

男女共同参画の現状は諸外国に比べかなり遅れているということが浮き彫りになっていく中で、我が国におきましては、政治・経済分野について、審議会等における女性の参画状況の「見える化」や女性活躍推進法に基づく男女の給与の差異の公表、女性デジタル人材の育成等の取り組みを進めているところでございます。

本市におきまして、男女共同参画社会の実現をめざし、社会状況の変化とニーズに対応しながら、引き続き、「第3期 オアシスプラン」及び「和泉市DV防止基本計画」における目標の達成に向け、庁内関係部局一丸となり、各施策に取り組んでまいります。

委員の皆さまにおかれましては、それぞれのお立場から忌憚のないご意見をお聞かせいただき、ご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。

案件(1) 令和4年度「第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)」及び「和泉市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画(DV防止基本計画)」に係る推進状況と令和5年度予定について

委員意見・質問等		回答	備考
①	(委員) 厚生労働省が設置基準を改定した「トイレの共用」について、和泉市の小中学校での取り組み予定はあるのか。	(後日回答) 多目的トイレ(バリアフリートイレ)の設置状況については、市内小・中学校数に対し1/2程度整備はできてはいるが、共用トイレ(ジェンダーレストイレ)について、現時点では文部科学省からの指導もないことから取り組み予定はありません。	
②	(委員) 参考資料①の「審議会等における女性委員登用状況一覧」について、掲載しているもの以外にも委員会等はあると思うが、掲載することの線引き等はあるのか。	(当日回答) 和泉市附属機関に関する条例に基づいたものとなっています。大阪府から照会がある「地方公共団体調査」(地方自治法第202条の3に基づく)の審議会等と同じ範囲となっています。	女性の登用率 ○令和5年4月1日現在:32.4% ○令和6年4月1日現在:32.4%
③	(委員) 色々な団体でクォータ制を導入している	(当日回答) クォータ制度に関しては、すべての附属機関等につ	(その後の進捗等) 吉田副市長が審議会における意

	が、和泉市でどういう考えを持っているのか。また庁内で検討しているのか。	いて、女性委員比率を40%以上とすることを目標とする内規を設けています。委員を決定する際には、チェックシートを添付し40%をクリアしているかどうかを示しており、クリアしていない場合はなぜなのか、今後どうするのか、ということも記載した上で、任免等の決裁書进行处理しています。しかし最近の傾向では、その形骸化も感じられるところで、チェックシートに理由を書いて添付すればいい、という捉え方も見受けられるため、是正していかないとはいえないと考えているところです。ただ難しい面があり、委員選出方法として各団体の推薦による場合、推薦結果を受け入れざるを得ないということから、各地域の団体・支援団体様と市がタッグを組み、最初の人選のところから意識して当たっていただく、そこから始めないと40%クリアというのはなかなか実現できないところがございますことから、引き続き相談、検討に乗っていただきたいと思います	見を部長会で報告し、各団体への依頼に際しては、女性の適任者を推薦していただきたい旨の事前説明の徹底等を依頼した。 市長からもクォータ制を条例で定めるなど大胆な手段を用いて取り組むことも必要なので議論してほしいと意見があった。 現在、女性登用率が40%以上の自治体や5年間で女性委員の占める割合が5%以上上昇した自治体の取り組み内容や条例でクォータ制を導入している自治体を調査中。
④	(委員) 防災に関連する委員の選定について、災害時には、高齢者の方、介護されている方、障がいをお持ちの方、小さなお子さんをお持ちの方など様々なニーズが持ち上がってくるものと思います。 各団体の推薦の場合も、「これまでの防災計画の中に、いかに多様な視点を入れていくか」という形で委員さんを推薦してください、とお願いするなど、これまでの発想を変えていかないとうまく防災が回っていかない。特に重要なのは実際にご自身がケアや医療に携わった経験のある方、またご自身		(その後の進捗等) 防災会議委員の女性登用率は15.0% 次期改選時の委員選定の事前協議の際に担当部署に検討するよう伝える。

	が障がいをお持ちの方などを重点的に推薦してもらうよう依頼することで自ずと女性が増えてくるのではないかなと思う。		
⑤	(委員) 桃山学院大学のインターンシップ受け入れについて、どこと連携をしているかということと、目指していることは。	(当日回答) 和泉市公共施設管理公社と連携し、男女参画参画センターにおいて啓発講座を実施しているので、講座の企画案、参加募集、運営などを職員と共にインターンに経験していただければと考えます。	
⑥	(委員) 男女共同参画が何かというのは、非常に重要なことではあるが、それをインターンシップで学ぶということは非常に限界があって、難しいことだと思う。学生には、実際に自分で企画を運営してみる、というところまで入り込んで欲しくて、例えばイベントの設営や受付だけでは、まさに形骸化したインターンシップになる。DVについて法学部の先生と連携しているのであれば、そこをもっと踏み込んで何か企画をするなどをぜひご検討いただきたい。		(その後の進捗等) インターンシップの受け入れをした際には、企画・運営を経験してもらう。
⑦	(委員) 市職員の女性管理職比率の目標が20%というのは、控えめな目標だと思う。市役所の中での女性職員比率とも関係していると思うので、次のオアシスプランでは女性の採用そのもの、その数をどうするかということも入れていかなければならない。		(その後の進捗等) 次期計画策定時に検討。
⑧	(委員) 次のオアシスプランで検討してほしいのだ		(その後の進捗等) 次期計画策定時に検討。

	が、今年、国が困難な問題を抱える女性を支援する法律を施行した。大阪府は今年度、基本計画を作ると思う。各市町村は努力義務になっているが、和泉市はどうするのか。今後検討する際には、困難な女性というのはどういう状態であるのか、オアシスプランとの関係、複合的な問題、例えば女性で障がいを持っている方等の複合差別の問題が、あまり今回のオアシスプランには入っていないので、このあたりを次にどう反映させるのか。次の段階で、柱のどこかに入れていただきたいと思う。		
⑨	(委員) 和泉市職員の男女比率は。	(後日回答) 和泉市職員総計2,099名(令和5年4月1日現在) (会計年度職員・再任用職員・任期付き職員含む) 女:62.6%、男:37.4%	令和6年4月1日現在 和泉市職員総計2,120人(会計年度職員・再任用職員・任期付き職員を含む) 女63.3%、男:36.7%
⑩	(委員) 和泉市のホームページのGoogle翻訳について、全て日本語表記になる	(当日回答) 早急に確認し対応いたします	担当課において修正済み

副市長挨拶

- ・本日のご意見には、きちんとお答えしたい。
- ・市長と私で手分けし、審議会に参加している。目的は2つ。1つはマネジメント強化、もう1つは行政案を作る前の段階で意見を頂くこと。
- ・本日の意見を一覧にし、質問・意見、回答及び進捗状況を整理してお示しする方法を取りたい。
- ・本日は数字の集計であって、分析ではない。今後、分析結果をお示しし、ご意見をいただく、という流れも作りたい。
- ・男女共同参画は、すべての施策に関わることであり、膨大な量となる。この会議の目的は、PDCAをしっかりと回すということである。ついて、代表的なものに絞り込み、議論をいただく方法を検討したい。本日のような資料は、私たちのマネジメントの中で逐一チェックしたい。

- ・次に「参考資料①」について、できるだけあらゆる団体を拾って、実態をお示したい。
- ・委員選出のチェックシートの形骸化について、人選の段階から考え方をしっかり伝えた上で、選考したい。
- ・本日の意見は、部長会議で報告したい。
- ・本日の会議で縦割り行政の弊害を再認識した。事業の実施は、各部局である。事務局が各部局に対して指示する権限がない。機構改革の必要性を感じた。
- ・複合課題については、重層的支援の新しい計画を作成中である。困難な女性の問題も伺った。主に福祉分野の計画にて反映させたい。
- ・職員採用とクオータ制の関係については、公平性との兼ね合いもあり、難しい課題であるが、今後検討したい。
- ・本市では審議会の改革も行っている。引き続き和泉市政へのご尽力を賜りたい。